

パラサイクリング報告会・交流会

山陽小野田市は、パラサイクリング日本代表を応援しており、これまで合宿の誘致や市民との交流事業を実施してきました。この度、8月28日から9月8日までの間に行われた「パリ 2024 パラリンピック」に出場したパラサイクリング日本代表選手が本市を訪問し、結果報告と市内の小学生との交流事業を行いました。

圏文化スポーツ推進課 (☎ 82-1116)



すぎうら けいこ
杉浦 佳子選手 (WC3/ サイクリング)

最初のトラックレースは、メダルどころか予選敗退という決勝にも行けないような結果でした。落ち込んで選手村に戻ると部屋に飾っていた出合小学校の児童のみなさんからいただいた日の丸が目に入りました。それで頑張ろうという気持ちに切り替わり諦めずスタートを切れて、ロードレース (C1-3) で金メダルを獲ることができました。



かわもと しょうた
川本 翔大選手 (MC2/ サイクリング)

今回メダルを獲ることは叶いませんでしたが、みなさんの応援のおかげで 3,000 m 個人パシュート (C2) で自己ベストを更新し、4 位に入賞することができました。次のロス大会に向けてトレーニングを開始しており、次こそ必ずメダルが獲れるように頑張りたいと思います。



ふじた まさき
藤田 征樹選手 (MC3/ サイクリング)

今回の大会は体調を崩したりトラブル続きで、どんなに準備してきたても本番で力を出すことが難しいこともあると感じました。しかし諦めず目の前の一つひとつを大事にし、クリアにすることで、個人ロードタイムトライアル (C 3) で 7 位入賞を果たすことができました。



きむら かずへい (MB/ タンデム
・ ストーカー)
木村 和乎選手

パラリンピックに初出場し、1,000m タイムトライアルで自己ベストを更新し、6 位に入賞することができました。みなさんの声援や子どもたちにももらった寄せ書きに後押しされ、三浦生誠選手 (タンデムパイロット) としっかり 2 人で走ることができました。ありがとうございました。

報告会



市役所で報告会を開催。権丈泰巳監督は「目標である全員入賞とメダル獲得が達成できたのは、ひとえにみなさんの声援のおかげです。ありがとうございました」と感謝を述べ、市長は「選手のみならず、権丈監督、沼部ヘッドコーチの力が結集し、大舞台での素晴らしい成果につながったと思っております。本当におめでとうございました」と労いを述べました。

交流会



出合小学校と高千帆小学校で交流会を開催。日本代表選手は大会の結果報告を行い、大会中の緊張感や現地での食事・生活など児童から出た質問に答えていました。杉浦選手と交流した生徒は、パラリンピックで獲得した金メダルを持たせてもらい、その重さや手触りを直に感じ「いつかオリンピックに出て金メダルを獲りたい」と目を輝かせていました。